

3年生地域資源活用 ヤマザクラを用いた草木染

10月に3年生が、ヤマザクラの内樹皮を用いて草木染を行いました。曲げわっぱ弁当箱を作る際に外樹皮を剥がした後から、残った内樹皮を剥がし、それを活用して行いました。



4月に雪害で折れたヤマザクラの生木から、外樹皮（黒色）を剥がしたのち、内樹皮（緑色）を剥がしているところです。ヤマザクラはどちらもきれいに剥がしやすい樹木です。



10月になってから、乾燥させた内樹皮を釜で煮沸しました。乾燥させると、色が茶色に変化します。煮詰めることと、酸化反応で赤色を出すため、バケツに煮汁を入れて、入れ替える工程を繰り返します。



煮沸と酸化反応を繰り返すと、薄いピンク色に変わります。その後、染める布を入れてからミョウバン液に浸けて色を固定すると、桜色の布が完成しました。生徒たちも色の変化と内樹皮の活用方法に驚いていました。